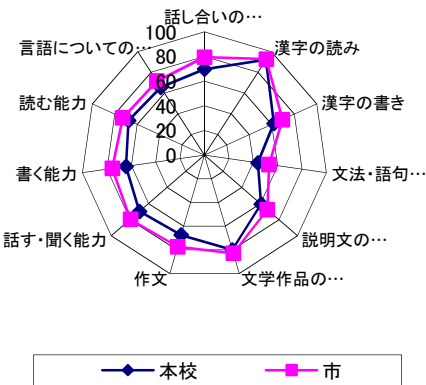


宇都宮市立国本中学校 第1学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容の聞き取り	69.8	79.5
	漢字の読み	92.0	92.6
	漢字の書き	61.9	69.5
	文法・語句に関する知識	43.8	52.9
	説明文の内容の読み取り	60.7	67.4
	文学作品の内容の読み取り	80.1	82.9
	作文	67.5	77.4
観点別	話す・聞く能力	69.8	79.5
	書く能力	64.4	75.6
	読む能力	67.8	73.1
	言語についての知識・理解・技能	65.5	71.5



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容の聞き取り	市の平均正答率より9.7ポイント下回っている。 [話し合いに話題や方向を的確にとらえたうえで、自分の考えをまとめる]問題では市の正答率より24.0ポイント下回っている。	聞き取り問題の練習を繰り返し行い、自分の意見をまとめられるように指導していく。
漢字	読みでは市の平均正答率より0.6ポイント下回っていて、書きでは7.6ポイント下回っている。 書きの問題で最も正答率の低い漢字は「報告」であった。	新出漢字の練習は今まで通り行う。漢字の書きの定着のため、漢字テストの回数を増やしていきたい。普段の文章で、学習した漢字を使用していくことを指導していく。
文法・語句に関する知識	市の平均正答率より9.1ポイント下回っている。 正しい文節数に区切ることを苦手とする生徒が多い。	学習後に問題を多く解かせ、復習を繰り返し行うことで文法の基礎が定着するようにしていく。
説明文の内容の読み取り	市の平均正答率より6.7ポイント下回っている。最も正答率の低い問題は記述問題であった。	普段の授業から、記述形式での問題を多く解かせるようにしていく。
文学作品の内容の読み取り	市の平均正答率より2.8ポイント下回っている。 「文脈の中での語句の意味を正確に捉える」問題の正答率が最も低かった。	語彙の不足から問題が解けないことが考えられる。授業で学習する意味調べを徹底するようにしていく。
作文	市の平均正答率より9.9ポイント下回っている。表からの読み取りができていない。	課題作文の添削後にもう一度復習をする機会を設けるようにしていく。